

2021.11.1

Report from AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動



紅葉と香りと花で感じる 秋の赤塚公園



前々週の10/18のスタート時は11℃。11/1は16℃に揺り戻し。気温の乱高下はまだまだ続いていて、植物の動きも以前からお伝えしているように複雑なのですが、少しずつ秋にはなっているようです。

城址地区から大門地区へと渡る陸橋から見る景色では**桜（ソメイヨシノ）の紅葉**がきれいになっています。大門の

遊歩道を歩いていると、そこはかたなく甘い香りが漂ってくる場所があります。足元を見ればハート型の葉が黄葉して落ちていて、その先には**カツラ**の木（写真右上）。人によって「醤油が焦げた匂い」「ケーキの焼けた匂い」と感じ方は様々ですが、今年は特に良く香っています。

草原を見ると（左下の写真）。昔の子どもたち（今のジジ・ババ）がおままごとで「アカマンマ」と言って遊んだイヌタデの花がまだ咲いています。でも、写真のこの群落では、花の色は**イヌタデ**より薄いピンク色、花穂の密集具合もどことなくまばら。かといって、**ハナタデ**ほどにまばらではありません。秋が深まってくるとイヌタデからハナタデに移り変わってくるものなのですが、これはどちらか見分けがつかえません。モニタリングの仲間たちで「**もしかしたら交雑種かもしれないね**」と話し合っ「**要観察種**」となりました。

<隠し絵クイズ> 大門広場は野草の原っぱ



大門地区のいちばん東端、通称「大門広場」は一昨年は生物多様性保全事業の工事サイトとしてしばらく人が立ち入れないようになっていました。工事が終わっても長く続くコロナ禍の影響でしょうか、以前のようにここを歩く人が少なくなって、その分だけ野草の野原が広がってきました。

←この写真の中に見えるピンク色の花は前ページ紹介のイヌタデ or ハナタデですが、もう一種、珍しい花が映っています。

写真が下手っぴな上に、安手の印刷なので紙媒体ではほとんど認識不能。でも、パソコンの画面でよくみると確かにあります。さて、何でしょうか？

モニタリング開始6年目になるのに、またまた、初観察の植物登場！

大門地区の交差点から新高島平駅に続く街路で植え込みの下に広がっ

ているのは2年前から観察されていましたが、赤塚公園では初観察の**カラスノゴマ**。1株だけ、花をつけていました。

3、4年前に突然出現し、昨年は観られなかった**キケマン**（写真左下）が復活登場。それにしても、この春の花、今にも咲きそうに大きく葉を広げているのはどういうわけ？

大門広場は立ち入り禁止ではないので、どなたでも歩けます。足元に注意しながら探してください。



<11~12月のモニタリング活動>

皆さんの自主活動の集まり。だれでも参加できます。

11/8、11/15、12/6、12/13、12/20 いずれも月曜日

9:00 ため池公園梅林下スタート

都立赤塚公園サービスセンター 03-3938-5715

モニタリング活動では大門で初観察、1株のみです

隠し絵クイズの答え キンミズヒキ